

秋田市教育委員会
会 議 録

令和4年12月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和4年12月定例会会議録

- 1 日 時 令和4年12月22日(木曜日)
午後3時30分～午後4時40分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室長
生涯学習室長
総務課副参事
教職員室副参事
教育研究所副所長
生涯学習室長補佐
生涯学習室副参事
総務課主席主査
教育研究所主席主査
学校適正配置推進室主席主査
総務課主査
総務課主任

5 議 題

【協議事項】

- (1) 令和4年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について
- (2) 令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について

【教育長等の報告】

- (1) 令和4年11月市議会定例会の審議状況について
- (2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について
- (3) 令和4年度「二十歳（はたち）のつどい」の警備について

6 議 事 午後3時30分開会

【令和4年11月定例会会議録の承認】

令和4年11月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【協議事項】

- (1) 令和4年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

教育長 協議事項(1)「令和4年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について」、事務局から説明願う。

教職員室長 (資料に基づき説明)

委員 各校において、コロナ禍における感染対策に係る工夫を見ることができた。例えば、机の間隔を広くしたり、定期的に窓を開けて換気していたことが挙げられる。また、修学旅行については、旅行地が県内の学校もあったが、従来通りの旅行地で実施することができている学校もあるということであった。こうした先生たちの知恵と努力で通常通りに近い形で子どもたちが充実した学校生活を送っている

様子を見ることができた。

学級閉鎖になった際には、健康状態の確認や家族との連絡などにタブレットを利用していた学校もあり、ICTの活用が徐々に進んでいる一方で、あまり進んでいないと思われる学校も見受けられたため、今後も活用方法を研究していただきたい。

校舎の老朽化が進んでいる学校では、校舎に掲示物を貼ったり、花やオブジェを置いており、空き教室についても、郷土研究資料室や特別学習室にしたりといった努力が見られた。

先生の若返りも感じられた。学校によっては、若い先生がベテランの先生と協力しながらそれぞれの特性を生かして授業を充実させている点が印象に残っている。

今後、さらに少子化が進み、本市でも学校適正配置が進んでいくと思うが、秋田らしい教育や発達段階に合わせた児童生徒が興味を持てる魅力のある授業を展開して欲しい。

委員

学校訪問の日程については、学校の行事の中に無理なく配置されていると感じたし、滞在時間などについても学校の教育活動の大きな妨げにならないように設定されていたと思う。

各学校が若手教員の育成に力を注いでおり、秋田市の子どもたちを育てる若手教員をよく育てているという印象を受けた。懇談においても、若い先生たちが学校で授業することや子どもたちとの関わりが楽しいという雰囲気を出して、伸び伸びと発言することができていると感じた。

タブレットなどのICT活用の授業が、昨年度の数倍多く見受けられた。懇談においても、1日に1回は、朝の会や授業など何かしらの形で活用しているということであったため、来年度からは思考力や判断力、表現力を育むため

の活用の研究が深まってくるのではないかと感じた。また、欠席等に係るタブレットの活用については、子どもの求めに応じて繋がる体制が整ったということが大変心強いと思った。中には繋がりを求めない子どももいるであろうが、いつでも求めに応じてアクセスできるという言葉に非常に明るい未来を感じた。また、課題研究推進校に委嘱されている学校の取組はやはり充実しており、それが各校に広がれば豊かな学びになるだろうと思った。

トイレ改修がかなり進んでいる印象を受けた。衛生面においても子どもたちの環境づくりに取り組んでいることに感謝している。

先生たちから聞いたところによると、大型スクリーンなどの活用が非常に効果的だということで、予算が削減されている中で、必要なところに予算をかけるという判断は学校にとってよかった。

委員

各校における感染対策については、だいぶ落ち着いて対応している印象を受けた。また、各校長先生から、コロナ禍においても、様々な行事を中止にせず、感染対策を行って実施することにより、子どもたちの体験に繋がりたいという話を聞くことができた。事前配付資料2ページの「訪問校の「学校経営の重点」」のところで、「関わりを重視した教育活動の推進、望ましい人間関係構築、学級づくり」が前年に比べて多いことから、コロナ禍における感染対策が落ち着いてきた中で、今までコミュニケーションが取れなかった分、行事も進めていきたいという各校の対応を見ることができると思う。同じく資料2ページの「懇談における話題」についても、「家庭・地域との連携について」や「小中連携について」も今までコミュニケーションが取れなかった分、なんとかして取っていきたいというモチベーションが上がっていることから、前年に比べて多く

なっていると思った。

太平中の学校訪問の際、閉校間近で3人しかいない生徒が閉校に向けて色々な準備をしている姿が非常に印象的であった。

教育施設訪問では、グランドオープン前のミルハスに訪問したが、この施設を各校の行事で子どもたちが今後利用できるようになると考えるとすごく素晴らしいことだと思った。

学校訪問の日程については、特に問題はなかった。午前の訪問校で給食をいただくことは、懇談で時間が足りず聞くことができなかつたことを校長先生と給食をいただいている中で聞くことができたり充実した時間であるため、今後も継続していただきたい。

委員

昨年度までは、行事等が中止になったり、実施しても保護者が参加できなかったようだが、今年度に入り、保護者が参加できたという話も聞き、地域と話し合いをしながら少しずつ行事を実施したり、地域活動も行っているということで、先生たちがかなり工夫していることが感じられて良かった。また、校内の掲示物などを見ても、コロナ禍であっても、学習が充実していると感じられた。

いじめ・不登校、教育相談、特別支援教育については、個々の児童生徒の状況に配慮して関わりを作ったり、工夫している学校が増えているという印象を受けた。取組の中で、試行錯誤しながら色々なアイデアが蓄積されると思うため、他校にも広げられればよいと感じた。

I C Tについては、学校によって取組の差が出てきているのが印象に残った。1年生から積極的に使っている学校もあれば、あまり使っていない学校もあった。今の小学生は、生まれた時からスマホやタブレットがあり、就学前の時点で自分で使っている児童もいるため、先生たちもどん

どん試してみて、どのようにしたら効果的かといった次の段階に早く進んでほしいと思った。この点についても、学校間で情報共有していければよいと感じた。

教育長

コロナ対策は、学校もだいぶ慣れてきたと思った。その中でコロナに対する知見も変わっていくため、それに応じて、工夫していくことができればよいと思う。

I C Tの活用については、昨年にと比べるとだいぶ活用の場面が見られるようになってきたが、学校間での取組の違いがまだあるということだったため、今後も様々な学校の取組を広く周知し、もっと気楽に使ってもよいのだという刺激を与えていくことが大事であると思った。

若い教員がどんどん増えていると感じられ、懇談においても、フレッシュさや一生懸命さが伝わってきて大変よかった。ただ一方で、授業における指導技術や子どものつぶやきを拾って発言を繋いでいくといったことは、最初からできるものではないと思う。そういった指導技術の継承を今後も各校や教職員研修で進めていく必要があると思った。また、若いうちに経験を積んでいってほしいと思っているが、コロナ禍の中で、令和2年度以降に採用された先生で、P T Aの保護者との懇談会を一度も経験したことがない先生もおり、日頃からのコミュニケーションによって、様々なトラブルが発生した際の保護者からの感じ方も変わってくることもあるため、P T Aの機会も大事にしていかなければならないと思った。

学校教育課長

I C Tについては、ものすごく進んでいる学校もあり、想像を超えるような使い方までしている学校もある。一方で、効果的な活用をしなければいけないとちゅうちょしている学校もあるため、少しハードルを下げる呼びかけをしていきたい。また、例えば若手がリードしてI C Tの活用が進んでいる事例も見られるため、そういった先進的でよ

い事例を周知しながら、来年度はさらに一步踏み込んだICTの活用を図っていきたい。

教職員室長 新規採用を含めた若手教員の配置に加え、定年延長や再任用によりベテランも増えていることから、バランスよく各校に配置していくことを心がけている。学校側もその意図をくんでいて、若手を学校を中心に置いてベテランをそのサポート役に回す体制で活性化を図っている学校が増えてきているため、そうした取組を校長会等で広く周知しながら各校の状況に合わせて進めることを伝えていきたい。

教育研究所長 若手教員研修を行うとともに、基本研修となる初任者研修も行っており、初任者でお互いに高め合う場を作っている状況である。中堅教員やミドルリーダーの育成も大切であると考えている。10年経過をした先生が受ける中堅教諭等資質向上研修について、対象を再考するなど研修を充実させていきたいと考えている。

総務課参事 トイレ改修については、古い順に整備しているため、古いものはかなり改修されたと思う。ただ、洋式化率がまだ66パーセントであり、計画的に順次進めていきたいと考えている。

委員 今まで学校の合唱コンクールなどの行事については、文化会館を使用していたが、文化会館と県民会館が閉館され、一つ施設が少ない状態であるとも捉えられる。ミルハスのスケジュールがかなり詰まっているようであるが、学校が合唱コンクールや学習発表会などで使用できる余地がなくなっている気がする。事前に学校からいつ頃行うかなどを聴取して、できるだけ学校でも使用できるように配慮できないものか。

学校教育課長 校長会に来年度の行事について確認したところ、今までは合唱コンクールは保護者のことも考えて土日に行っていたが、平日にし、分散した形でアトリオンなども使用しながら

ら、工夫していくとのことである。校長会などで問題点が出てきたら検討する必要があると思っている。

委員 素晴らしい施設であるため、1校でも多くの学校が使用して、自分たちの思い出にしていっていただきたいのでよろしくお願いする。

教育長 さっそく学校行事で使っているという話も聞いている。

学校教育課長 今年度から既にミルハスを使用している。

教育長 ただ、ミルハスのスケジュールがかなり詰まっているようであるため、日程を確保するのが厳しい状況であるようだが今後も注視していきたい。

委員 エアコンが設置されたのが非常に好評であったが、電気代が急に高くなったのではないかと心配したがどうか。

総務課長 たしかに電気使用量も増えており、金額についても基本料金が上がったため、昨年と比べて電気代が相当高くなっているが、それについては、補正予算で対応していく。

※ 協議事項(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について

教育長 協議事項(2)「令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について」、事務局から説明願う。

教育研究所長 (資料に基づき説明)

委員 当日配付資料1ページの1(3)の調査内容の②と③について、オンラインにより回答とあるが、これは児童生徒に配布されているタブレットを使用して回答することか。

教育研究所長 ②の児童生徒質問紙調査に関しては、そのとおりである。③の学校質問紙調査は、調査日までの2週間程度の期間内に、学校がウェブ入力で回答することになっている。

委員 資料1ページの1(4)の中学校の英語「話すこと」に関

する調査について、児童生徒が話しているのをどのように調査するのか。

教育研究所長 平成31年度にも同内容の調査が行われており、当時は、学級単位ごとに別室に設置しているタブレットに一人一人が向かい、ヘッドセットをつけ、事前にインストールされている調査プログラムを全員で立ち上げて、同時に始めた。調査の内容は、例えば、イラストのカレンダーが表示され、何月何日であるかを英語で答える問題や会話のやり取りの後の次の質問を答える問題などであった。一番難しかった問題は、将来の夢ややりたいことと、それに向けてどんなことを頑張っているかという問題で、1分考えて30秒で答えるというものであった。問題は全部で5問あり、時間としては5分程度であった。来年度の調査も5分程度とされているため、同じような内容であると想定している。ただ、前回と違う点としては、今回は学級単位ではなく、1学級を3グループ程度に分けて入れ替わりでの調査となる。おそらく他の人の声が録音されないよう配慮するためだと思われる。

教育長 生徒が自分のタブレットを持って行くのか。

教育研究所長 国が示しているのは、3分の2が退室し、残りの3分の1が自席で自分のタブレットで5分の調査を実施することを3回繰り返すこととされている。

教育長 生徒が話したことは録音されるのか。

教育研究所長 平成31年度においては、インストールした調査プログラムによりタブレットに録音され、研究主任が調査が終わった後全てのタブレットから音声データをUSBに保存した上で、それを国に送付する方法であった。来年度の調査について示されているのは、文部科学省のシステムに一人一人が整理番号でログインし、システムに音声データが保存される形であるため、研究主任の負担が軽減されると思

っている。

※ 異議がなかったため、令和5年度の調査については、参加することに決定した。

※ 協議事項(2)については、以上のとおり終了した。

【教育長等の報告】

(1) 令和4年11月市議会定例会の審議状況について

教育長 報告(1)「令和4年11月市議会定例会の審議状況について」、事務局から説明願う。

総務課長 令和4年11月市議会定例会における教育委員会関係の審議状況について報告する。

本会議における一般質問においては、新型コロナウイルス感染症の感染等により自宅待機している児童生徒に対するオンライン授業の実施についての質問があり、既にオンラインによる学習課題の解説や、A I型ドリル教材の活用を行っているところであり、オンライン授業については、今後、さらに活用の機会が広がるよう努める旨を説明した。

また、予算決算委員会教育産業分科会では、修学旅行キャンセル料支援事業や、国庫補助内定に伴う小・中学校の施設等改修経費、I C T支援員配置のための債務負担行為の設定等の補正予算案について審議され、予算決算委員会全体会において、原案どおり可決すべきものと決定されている。

なお、「I C T支援員配置経費」について、現状の教職員のI C Tスキルはどの程度なのかという質問があり、基礎的なスキルは個々人でも勉強しているほか、校内研修を実施するなど向上に努めており、レベルの底上げが見られる旨を説明した。

以上の補正予算案については、本会議において、原案どおり議決された。

次に、教育産業委員会では、陳情として提出された「学

校部活動の地域移行に関する意見書の提出について」と
「学校における新型コロナウイルス感染症対策の見直しに
ついて」は、いずれも不採択となっている。

その他として「学校適正配置に関する地域協議の開催状
況等について」等を報告した。

報告は、以上である。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(2)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等
について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

教育長 事前配付資料3ページの1(1)の土崎小、土崎南小学校
統合検討委員会は、次回、合意書の内容についての検討に
入るが、その後のスケジュールは、どのようになっている
か。

学校適正配置推進室長 次回、統合の時期が決まると合意事項の内容がほぼ固ま
るため、合意書の調印が可能になる。第8回の検討委員会
においても、今年度中に合意書に調印したいという意見が
あったため、合意書の調印後、来年度早々には学校統合準
備委員会を設置し、具体的な準備作業に入りたいと思っ
ている。

委員 資料4ページの2(2)の太平中、下北手中、城東中学校
統合準備委員会について、交流事業に係る記載があるが、
現状や今後の予定はどうなっているのか。

学校適正配置推進室長 交流事業に関しては、8月に城東中の生徒が主体となっ
て、太平小、下北手小の児童と保護者を対象に、校舎の見
学や部活動の紹介といったプレ体験入学を行っている。そ
の後、生徒が参加した児童にアンケートを実施したところ、
全員が参加して良かったという感想であったとのことであ
る。さらに、城東中に進学となる広面小、東小を含めた4
つの小学校の児童を集めた体験入学も実施しており、現在

は、城東中への入学に備えている状況である。

委員 資料3 ページの2 (1)アの2つ目について、秋田西中の制服・体育着等の指定物品を豊岩中、下浜中の生徒に支給することについて、他の統合する学校でも行われていたのか。

学校適正配置推進室長 生徒が学校にスムーズになじむことができるように、制服・体育着は、統一したいと考えており、これまでの統合についても、同様の対応をしている。

委員 資料3 ページの1 (1)アの2つ目について、土崎小の学区の一部の調整が必要ではないかとする意見があるが、具体的には港北小に変更することなどが考えられるのか。

学校適正配置推進室長 統合後に使用する校舎を土崎南小とした場合、現在の土崎小学区の中には、港北小が近くなる児童もいるのではないかとのことであった。そうした中で、どのような形であれば子どもたちが負担なく通学できるかを考えたときに、港北小に行くことができるようにする必要もあると思われることから、具体的な学区の調整については、次回以降、地域からの要望等を踏まえて、検討していきたいと考えている。

教育長 学区として線引きする方法、選択することができる措置を講じる方法など、色々な方法があると思うので、地域の方々と十分協議して決めていただきたい。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

(3) 令和4年度「二十歳（はたち）のつどい」の警備について

教育長 報告(3)「令和4年度「二十歳（はたち）のつどい」の警備について」、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

委員 2階席を1席ずつ空けるとのことであるが、空ける席に着席不可である旨何か対策をするのか。また、中学校ごとにブロックを分けるとのことであるが、例えば、Aブロックに着席すべき人がBブロックに着席しているといったこ

とが分かるよう印などを付けるのか。

生涯学習室長 2階席については、着席不可である旨の掲示を1席ごとに札を置く形を考えている。イベント・行事等の参加人数の収容上限基準の半数以下の状態であるため、1席空けなくても問題ないが、安全のためこの形をとる。札をよせて座ったとしても、1席空けるよう指導することは積極的にはしなくてよいと思っている。ブロックについては、目安としているものであるため、ブロックを越えて着席したとしても、特段席の移動等を求めることはしない。さらに、1階に先に入場してもらうこととしており、満員になった時点で1階を閉鎖し、その段階でブロックごとの人数にばらつきがある場合には、ブロックにこだわらず空いている席に座るようアナウンスする予定である。

委員 準備が大変だと思うが、今回の参加者は、高校3年生の時にコロナ禍になり、色々な行事ができなかったこともあり、楽しみにしていると思われるため、成功することを祈念している。

委員 昨年度の新成人のつどい当日には、雪が溶けた状態で道路状況がよくなかった。今年度については、県南で1日に相当降ったりしており、心配である。例えば、当日の朝に相当量の雪が降った場合の除雪の体制は、どのようになっているのか。

生涯学習室副参事 道路維持課に二十歳のつどいがあることを伝えており、雪が降った場合には、優先的に市道と歩道の除雪を依頼している。また、事業所から借用する臨時駐車場についても、民間事業者に除雪を依頼しており、市立体育館の駐車場などの敷地内についても、雪が降り積もったとしても当日8時30分頃までに終了できるよう道路維持課に対応を依頼している。

委員 妨害行為について、私が教育委員に任命されてから起きたことはなかったが、その前に発生したことがあるとのことであり、その時と対応は変わらない形になっているか。

教育長 妨害行為が発生した当時には、それに対する準備をして

いなかった。当日に妨害行為を起こした新成人を警察が確保してから、後日、市長、教育長、教育委員が協議し、被害届を提出することとなった。その後、妨害行為の対応の流れを作成しておくことと、妨害行為者には厳正に対処することを示していくことになった。

※ 報告(3)については、以上のとおり終了した。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課副参事 1月定例会の日程等についてお知らせする。1月定例会については、1月26日木曜日、午後3時30分から開催する予定である。

教育長 1月定例会については、1月26日木曜日、午後3時30分から開催予定とのことである。委員の皆様、よろしく願います。

午後4時40分閉会